

授業科目 日常生活活動学 II

【担当教員名】  小林 量作		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	○	
【一般目標：G10】 「日常生活活動学 I」の知識を基に疾患別 ADL を学習し、その知識から事例を通して ADL 評価の選択・プログラム立案ができる。					
【行動目標：SB0】 1. 各疾患の ADL を学習する。 2. 模擬事例の評価を選択できる。 3. 模擬事例のプログラム立案ができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脊髄損傷の ADL			1	講義、担当：小林 量作
2	関節リウマチの ADL			1	講義、担当：小林 量作
3	下肢切断の ADL			1	講義、担当：小林 量作
4	在宅高齢者の ADL			1	講義、担当：小林 量作
5	片麻痺の ADL			2.3	講義（安達）
6	片麻痺の ADL2			2.3	講義（安達）
7	大腿骨頸部骨折の ADL			2.3	講義（細野）
8	大腿骨頸部骨折の ADL2			2.3	講義（細野）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正編	医学書院	2009・5,670 円
参考書		日常生活活動（動作）－評価と訓練の実際－	土田弘吉・編 他	医歯薬出版	2002・6,650 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席、レポート、期末試験			【履修上の留意点】		